

フランスの映画：メルシイ人生！

●あらすじ●

まじめで平凡な中年男が自ら**ゲイと偽る**ことで会社のリストラに対抗しようとして巻き起こる騒動をユーモラスに描いたフレンチ・コメディ。出演はフランスのダニエル・オートゥイユとジェラルド・ドパルデュー。映画の舞台となった Condom 会社には、日本の相模ゴム工業のパリ工場が使用されている。

Condom 会社に勤めるいたってまじめなだけが取り柄の冴えない中年男性ピニオン氏。妻子にも見捨てられた彼に追い討ちをかけるように、20年勤めた会社からクビになることを聞かされる。思いあまって身投げをしようとしたところを隣の部屋の老人に助けられる。事情を聞いた老人は**クビにならない方法**をピニオン氏に伝授する。翌日、会社宛に男と情熱的に抱き合うピニオン氏の写真が送られてくる。これを見た経営陣は**ゲイ差別**との糾弾を怖れてピニオン氏の解雇を撤回する。ピニオン氏の思惑は見事に成功したわけだが、当然周囲の見る目はすっかり変わり.....。

●感想●

フランスサークルで「メルシイ人生！」というコメディ映画を観た。ストーリーがおもしろくて観ている間、笑いが絶えなかった。この映画の中でゲイパレードのシーンがあった。主人公のピニオンが大きな Condom のかぶり物をして、パレードに出ている山車の真ん中に座っているのだ。フランスではこんなに大々的にゲイやレズビアンの人々が活動しているのか・・・！興味が湧いたので調べてみた。

●ゲイパレード●

日本においても「レインボーマーチ」([札幌](#))「レインボーパレード」([関西](#))という名称が使われ、[東京](#)のパレードでは「[東京プライドパレード](#)」が開催されている。

海外では、公園や[歩行者天国](#)の道路を使ってコンサート、ビールスタンド、コンテスト、スポーツイベント、ゲームなどを提供してカーニバルのような形態を取る都市もある。

同性愛者の結婚を認めているニューヨーク州も1周年を迎え、大きな風船などがだされて、盛大なパレードが開催された。

日本は同性愛者がよくテレビに出てはいるが、普通に生活する上で、受け入れるにはまだ抵抗がある気がする。どんな人も気持ち良く生きられる世の中になれば良いなと感じた。



←これはカナダ、バンクーバーのゲイパレード